

救急、救助



平成30年度供用開始予定の新名神高速道路における救急救助体制の強化を図るため、**集団救急救護訓練**を実施しました。高速道路での事故発生を想定し、安全迅速な活動スペースの確保、指揮初動体制の構築、迅速的確なトリアージによる早期搬送等、現場活動の手順を確認しました。

集団救急救護訓練

平成29年10月26日
於：菰野町消防本部

救 急

平成29年中の救急件数は1,480件、搬送人員は1,411人でした。1日あたり平均4件の出動で、町民31人に1人の割合で救急車が利用されたことになります。

救急件数を事故種別で見ると、急病が977件(66%)で最も多く、続いて一般負傷が231件(15.6%)、交通事故が156件(10.6%)、その他が116件(7.8%)となりました。

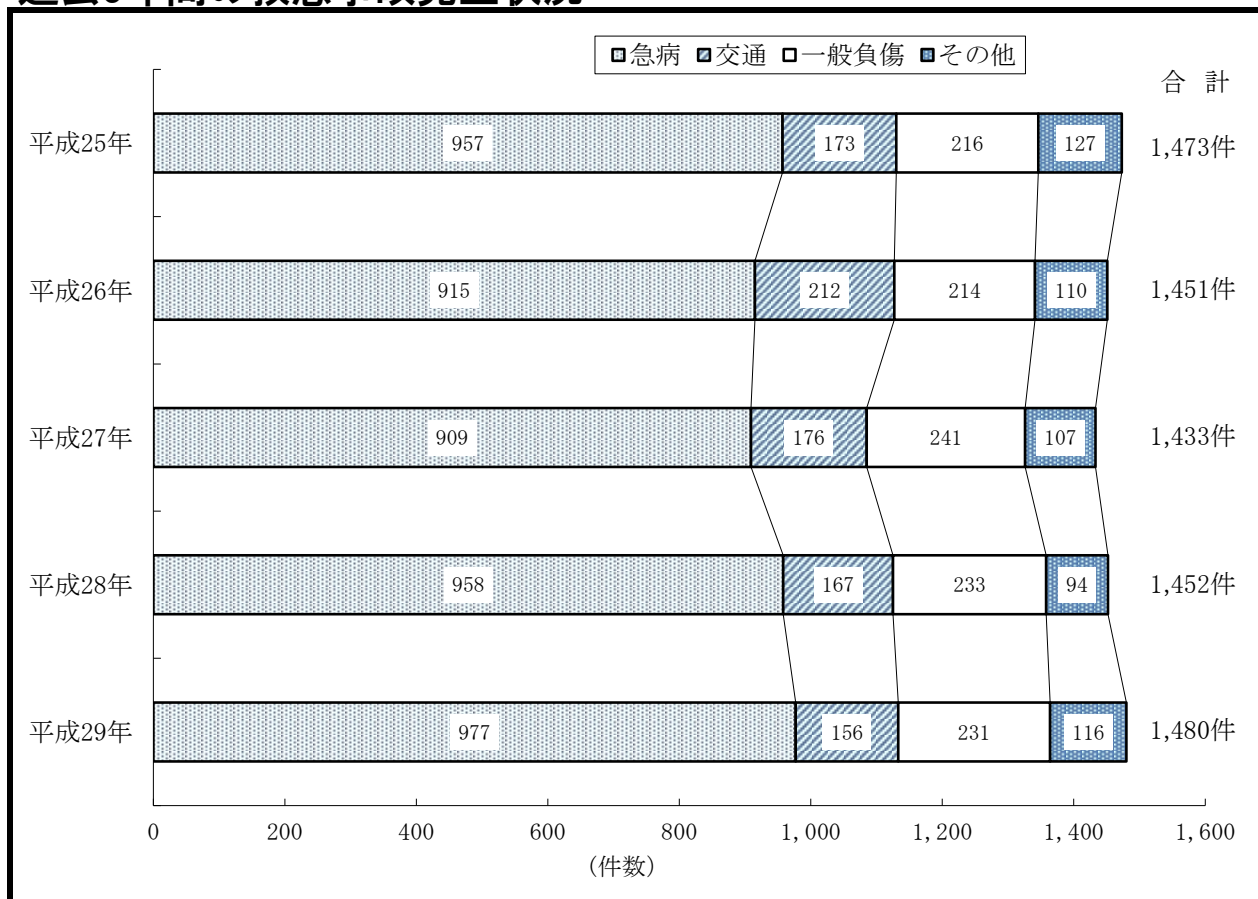
救急事故発生状況

年 別		平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
全 国	救急件数	5,915,683	5,984,921	6,054,815	6,209,964	
	発生率	466	467	477	489	
三 重 県	救急件数	90,560	89,277	90,593	91,492	
	発生率	488	481	499	504	
菰 野 町	救急件数	1,473	1,451	1,433	1,452	1,480
	発生率	355	350	345	348	354

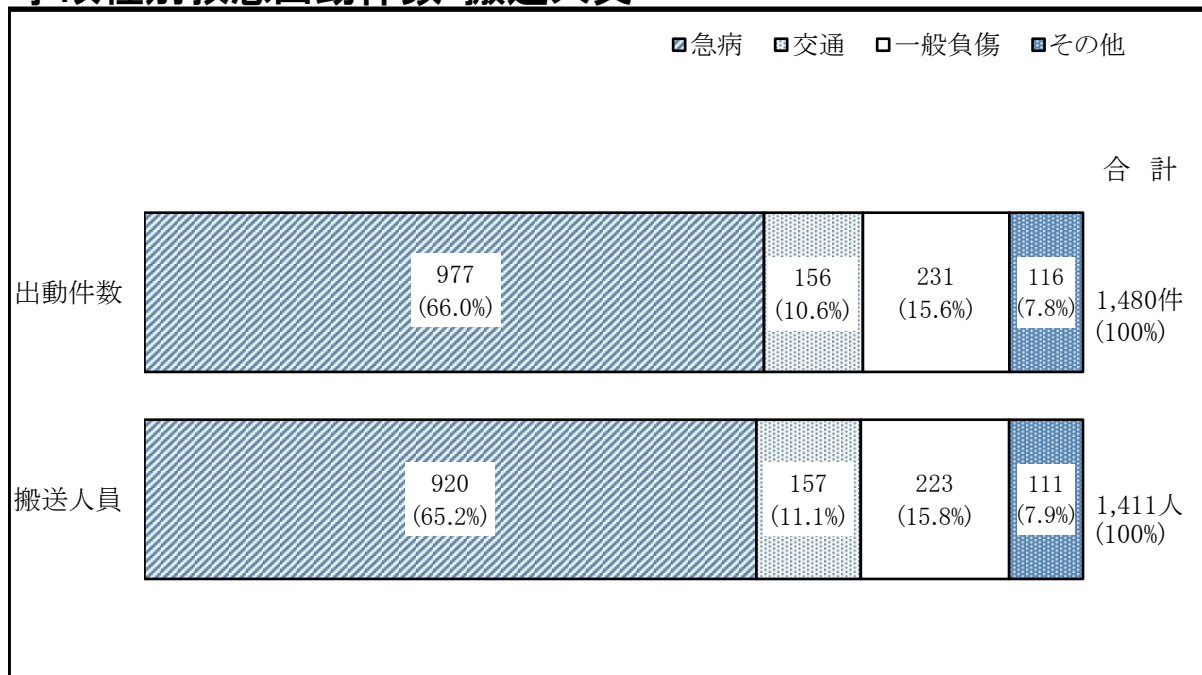
※発生率＝救急件数/人口×10,000

※菰野町人口 41,800人(平成29年12月31日現在)

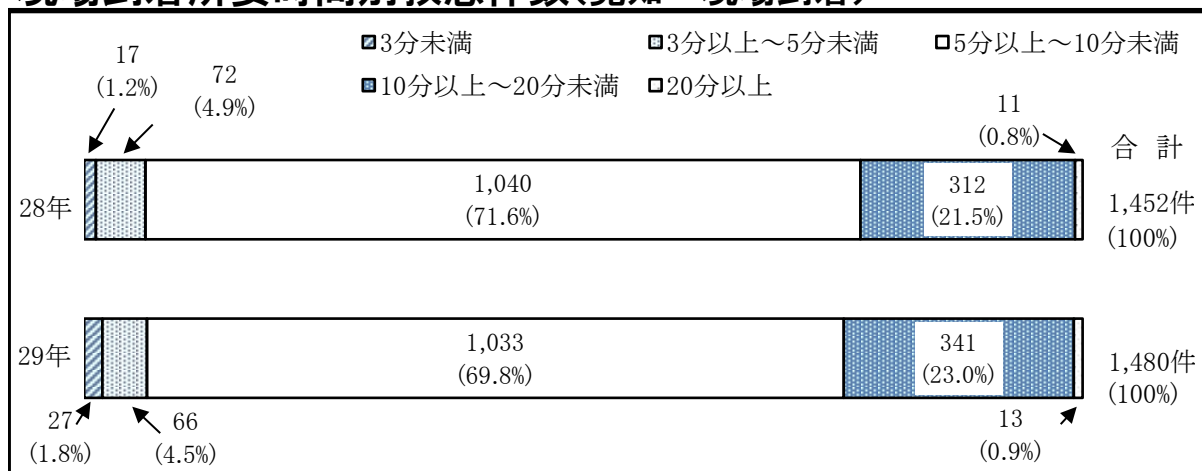
過去5年間の救急事故発生状況



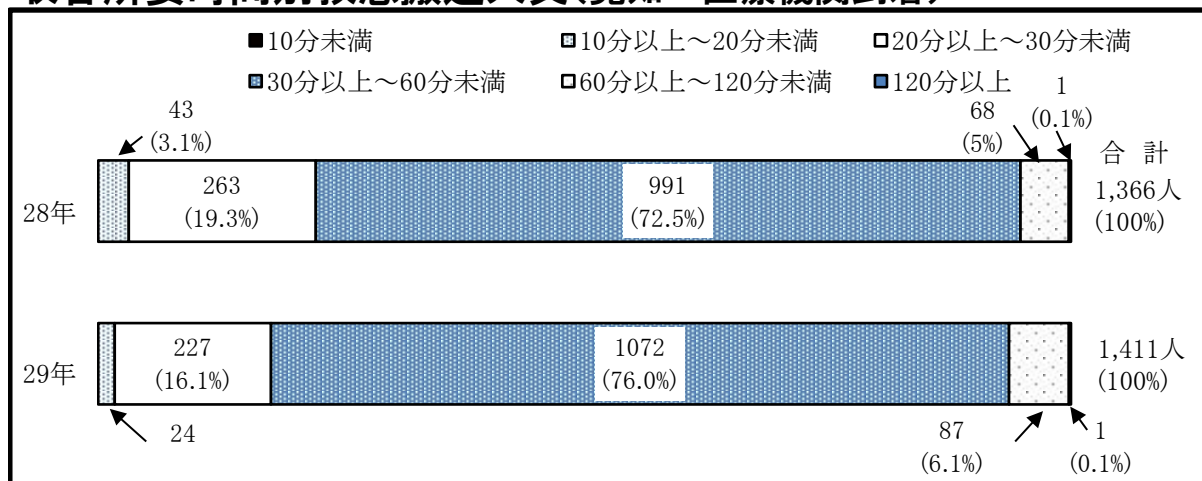
事故種別救急出動件数・搬送人員



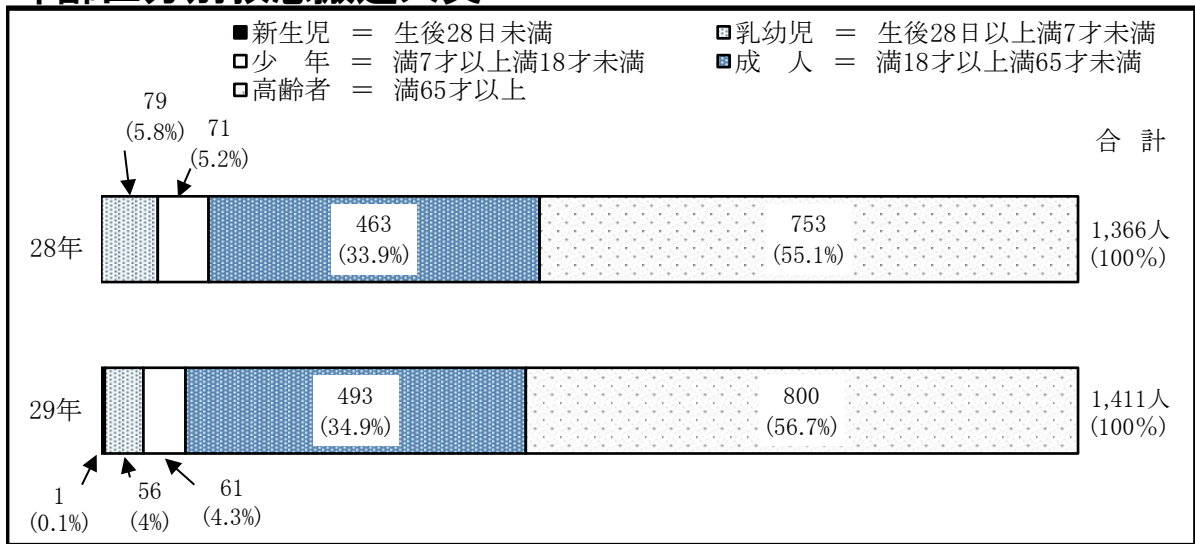
現場到着所要時間別救急件数(覚知～現場到着)



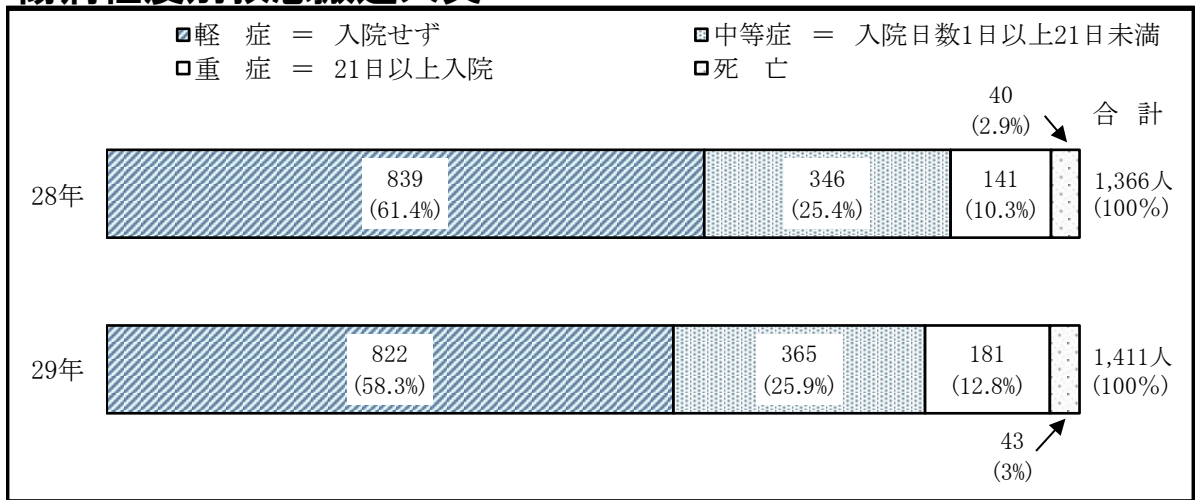
收容所要時間別救急搬送人員(覚知～医療機関到着)



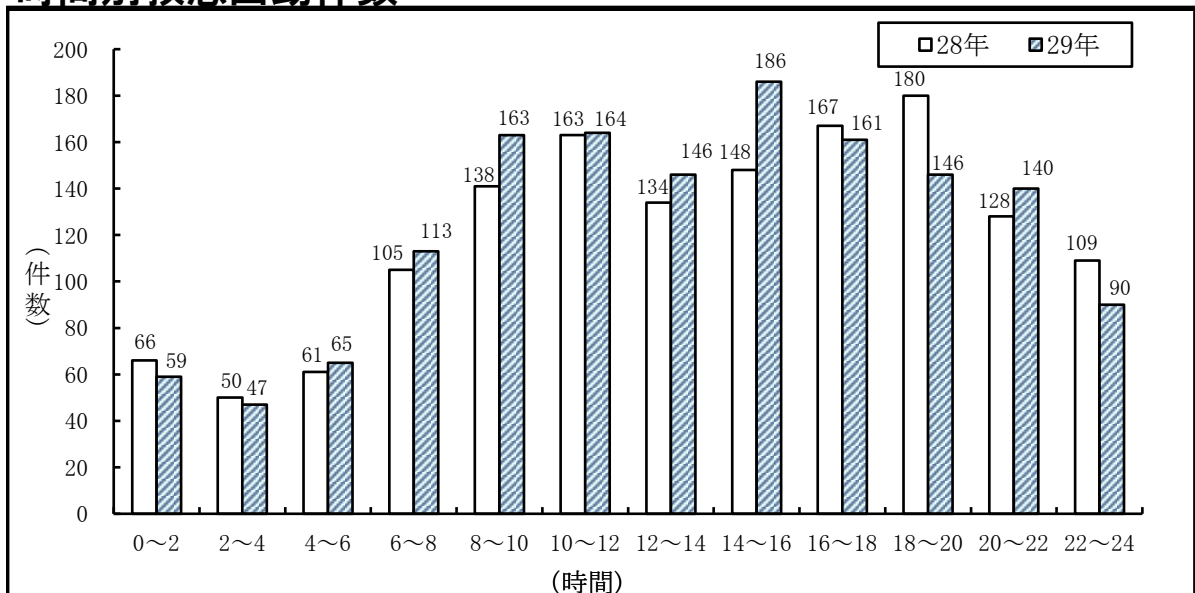
年齢区分別救急搬送人員



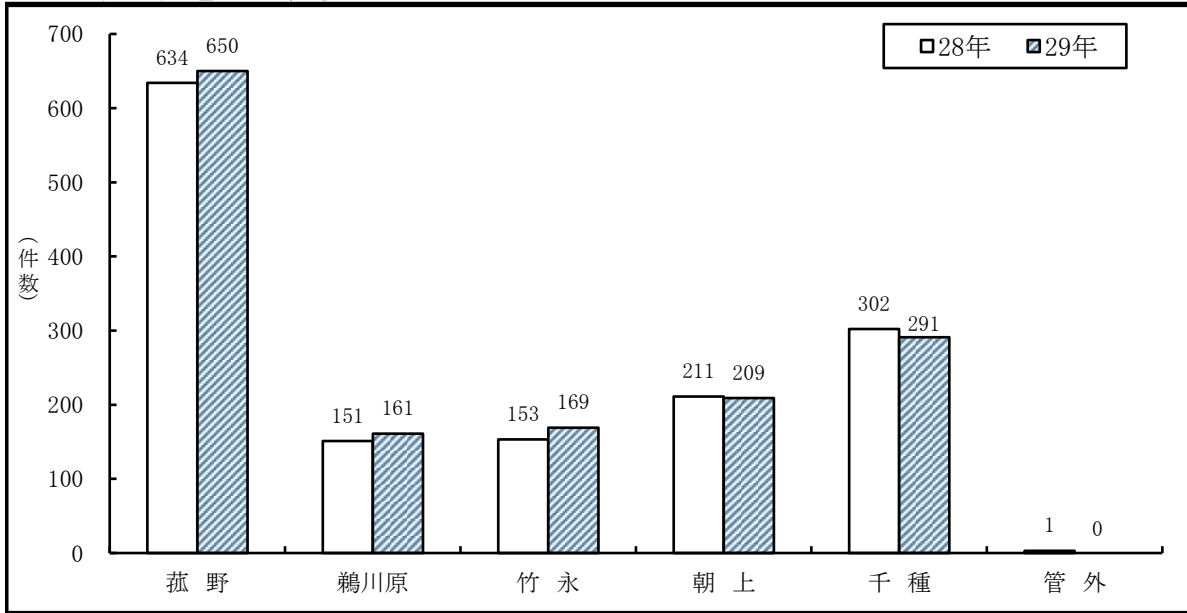
傷病程度別救急搬送人員



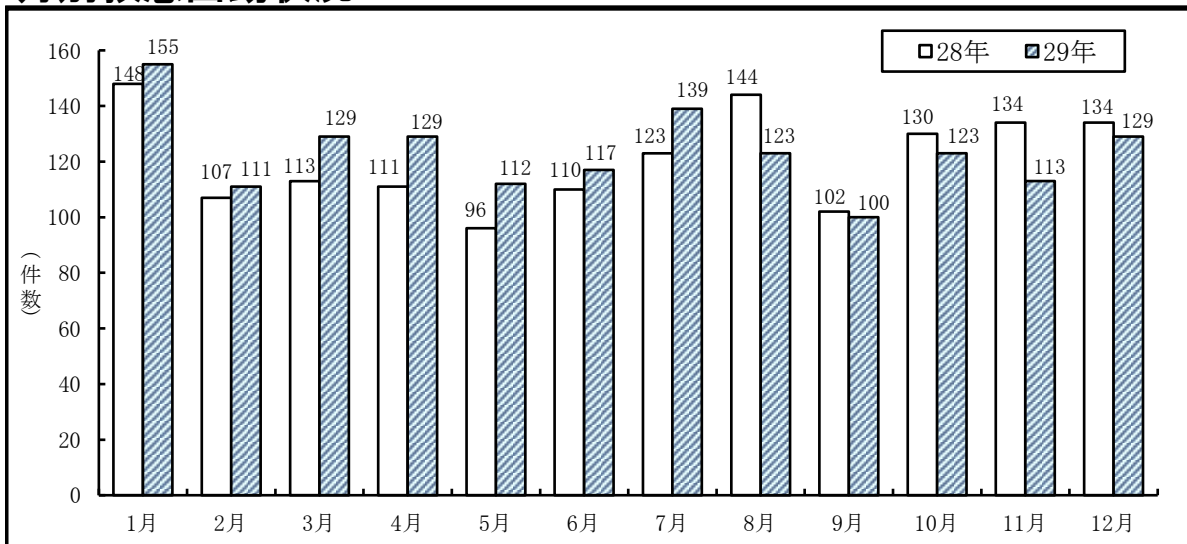
時間別救急出動件数



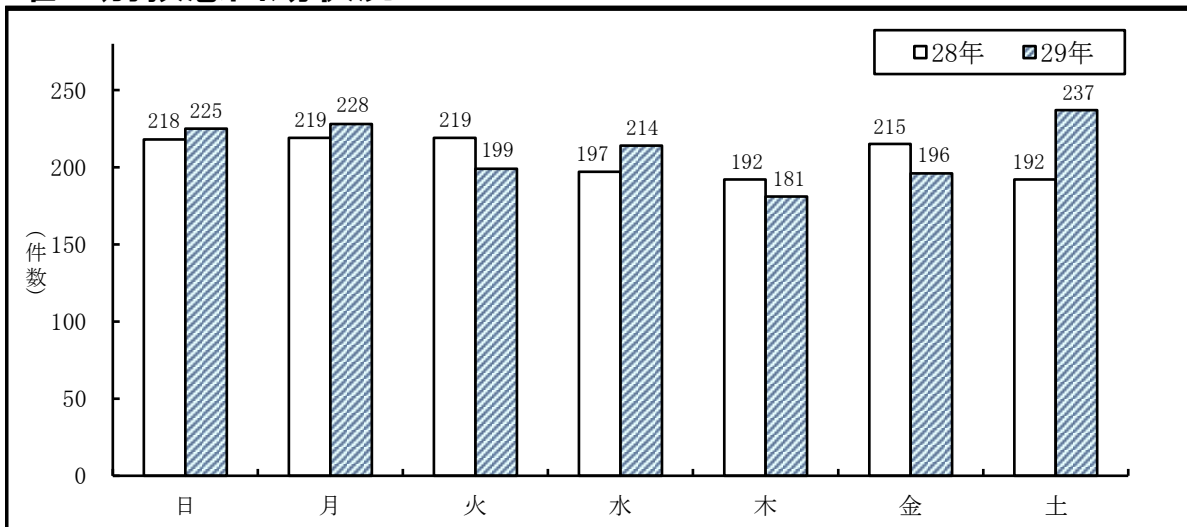
地区別救急出動状況



月別救急出動状況



曜日別救急出動状況



年齢区分別、傷病程度別救急搬送人員

年齢区分 傷病程度	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	29年合計	28年合計
死亡				7	36	43	40
重症			2	40	139	181	141
中等症	1	9	10	105	240	365	346
軽症		47	49	341	385	822	839
その他							
合計	1	56	61	493	800	1,411	1,366

事故種別、年齢区分別救急搬送人員

事故種別 年齢区分	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	29年合計	28年合計
新生児										1		1	
乳幼児				6			10			40		56	79
少年				19		7	12			22	1	61	71
成人	1			96	21	2	63	2	3	285	20	493	463
高齢者	1			36	6	1	138		2	572	44	800	753
合計	2			157	27	10	223	2	5	920	65	1,411	1,366

事故種別、傷病程度別救急搬送人員

事故種別 傷病程度	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	29年合計	28年合計
死亡				1	1		1		3	36	1	43	40
重症				14	6		26			106	29	181	141
中等症				18	7	1	52		1	257	29	365	346
軽症	2			124	13	9	144	2	1	521	6	822	839
その他													
合計	2			157	27	10	223	2	5	920	65	1,411	1,366

事故種別、時間別救急出動件数

事故種別 区分		火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他	29年 合計	28年 合計
休 日				1	31	2	4	62	3	2	215	1	321	309
休日以外の日		2			125	25	6	169		5	762	65	1,159	1,143
時 間 内 訳	0～2				1			8			50		59	66
	2～4				3			8			36		47	50
	4～6				3			5			57		65	61
	6～8				14	4		12		2	81		113	105
	8～10				22	4	1	28			102	6	163	141
	10～12			1	15	5	4	30			97	12	164	163
	12～14	1			19	3	1	27			81	14	146	134
	14～16				25	7	2	32		3	103	14	186	148
	16～18	1			23	3	2	27			93	12	161	167
	18～20				15	1		23	2	1	99	5	146	180
	20～22				12			18			107	3	140	128
22～24				4			13	1	1	71		90	109	
29年計		2		1	156	27	10	231	3	7	977	66	1,480	
28年計					176	27	8	241	5	14	910	52		1,452

事故種別、応急処置件数

事故種別 応急処置	急 病	交 通	一般負傷	そ の 他	合 計
止 血	8	19	45	12	84
固 定	17	121	87	22	247
人工呼吸	5			1	6
心肺蘇生	40		1	5	46
酸素吸入	254	9	21	38	322
気道確保	53		2	5	60
気道確保(特定行為)	5			1	6
保 温	424	66	109	48	647
被 覆	7	31	41	9	88
除 細 動	8				8
静脈路確保	37	3	3	3	46
薬剤投与	13			1	14
ブドウ糖投与	4				4
そ の 他	2,951	462	601	328	4,342
合 計	3,826	711	910	473	5,920

※人工呼吸は単独で行った場合のみ計上。その他は血圧、血中酸素飽和度の測定、聴診器による呼吸音聴取等。

事故種別、医療機関別救急搬送人員

告示別等	事故種別		急病		交通		一般負傷		その他		29年合計		28年合計		
	開設別		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外	うち 管外		うち 管外		うち 管外	
救急告示医療機関	国立		3	3					1	1	4	4	4	4	
	公立		506	506	80	80	108	108	70	70	764	764	676	676	
	公的		344	53	71	25	100	25	31	12	546	115	597	130	
	私的	病院		53	49	5	5	11	11	7	7	76	72	62	53
		診療所													
計		906	611	156	110	219	144	109	90	1,390	955	1,339	863		
その他の医療機関	国立														
	公立												1	1	
	公的		1	1							1	1	4	4	
	私的	病院		7	7	1	1	1	1	2	2	11	11	13	13
		診療所		6	5			3	2			9	7	9	6
計		14	13	1	1	4	3	2	2	21	19	27	24		
計	国立		3	3					1	1	4	4	4	4	
	公立		506	506	80	80	108	108	70	70	764	764	677	677	
	公的		345	54	71	25	100	25	31	12	547	116	601	134	
	私的	病院		60	56	6	6	12	12	9	9	87	83	75	66
		診療所		6	5			3	2			9	7	9	6
計		920	624	157	111	223	147	111	92	1,411	974	1,366	887		
その他の場所	接骨院等														
	その他														
	計														
29年計			920	624	157	111	223	147	111	92	1,411	974			
28年計			871	541	180	118	228	158	87	70			1,366	887	

救助出動状況

平成29年中は、39件の救助出動がありました。当町は面積の約3分の1が山岳地帯で多数の登山者が入山することから山岳救助事案が多く発生しています。(山岳救助件数24件)

番号	事故種別	覚 知 日 時	発 生 場 所(区)	※覚 知 別
1	交 通	1月 21日 5時 42分	菰 野 (宿 野)	加 入 電 話
2	その 他 (山 岳)	2月 25日 18時 12分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話
3	その 他 (山 岳)	3月 18日 14時 22分	管 外 (四日市市水沢町)	報 知 電 話
4	その 他 (山 岳)	3月 22日 12時 03分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話
5	その 他 (山 岳)	3月 25日 17時 56分	千 種 (千 草)	報 知 電 話
6	その 他	4月 1日 16時 20分	菰 野 (菰野第一区)	報 知 電 話
7	その 他 (山 岳)	4月 16日 13時 56分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話
8	その 他 (山 岳)	4月 22日 15時 09分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話
9	その 他 (山 岳)	5月 1日 12時 04分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話
10	その 他 (山 岳)	5月 11日 15時 46分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話
11	その 他 (山 岳)	5月 20日 16時 44分	朝 上 (田 口)	加 入 電 話
12	その 他 (山 岳)	5月 28日 13時 06分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話
13	機 械	6月 5日 10時 29分	菰 野 (菰野第一区)	報 知 電 話

※ 報 知 電 話 = 119番 (携帯電話等含む)
加 入 電 話 = 一般加入電話

	出場車両	人員	事故概要等	救助概要等
	救助工作車 救急予備車	3 3	自動車の単独事故で、1名が脱出困難となった	後部ハッチを開放し、介添えにて車外に救出した
	広報車 資機材搬送車	4 2	鎌ヶ岳馬の背尾根を下山中に遭難し、衰弱して動けない状態になった	自力歩行にて登山口まで救出した
	広報車	4	雲母峰を下山中に転倒した	担架に収容し、登山口まで救出した
	広報車 資機材搬送車 救急1号車	4 2 3	御在所岳裏道を登山中に滑落した	担架に収容し、登山口まで救出した
	広報車 救急1号車	4 3	根の平峠伊勢谷を下山中に足首を捻って動けない状態になった	背負い搬送にて登山口まで救出した
	救助工作車 救急2号車	4 3	金溪川に転落した	先着の救急隊等により救出した
	広報車	4	御在所岳裏道を下山中に転倒した	先着の防災航空隊によりヘリコプターで県立総合医療センターへ搬送した
	広報車	4	国見岳国見尾根を下山中に遭難し、体力を消耗して動けない状態になった	防災航空隊と協力して救出し、ヘリコプターで三滝川河川敷へ搬送した
	広報車	4	御在所岳中道を下山中に滑落した	先着の防災航空隊によりヘリコプターで県立総合医療センターへ搬送した
	広報車	4	御在所岳中道を登山中、両下腿の痙攣が発症して動けない状態になった	先着の防災航空隊によりヘリコプターで県立総合医療センターへ搬送した
	広報車	4	福王山を下山中に滑落した	先行していた警察隊により旧福王カントリークラブ前まで救出した
	広報車	4	御在所岳表道を下山中に滑落した	防災航空隊と協力して救出し、ヘリコプターで三重県立総合医療センターへ搬送した
	救助工作車 資機材搬送車 救急1号車	4 2 3	横転した重機と地面との間に右下腿部が挟まれた	重機の固定後、地面を掘って救出した

救助出動状況

番号	事故種別	覚 知 日 時	発 生 場 所(区)	※覚 知 別	
14	その他 (山岳)	6月 14日 13時 10分	菰野 (湯の山)	加 入 電 話	
15	その他 (山岳)	7月 2日 16時 02分	菰野 (湯の山)	加 入 電 話	
16	その他 (山岳)	7月 2日 16時 17分	菰野 (湯の山)	加 入 電 話	
17	交 通	7月 14日 8時 15分	千 種 (潤田)	報 知 電 話	
18	その他 (山岳)	7月 16日 16時 36分	菰野 (湯の山)	報 知 電 話	
19	その他 (山岳)	7月 22日 19時 29分	菰野 (湯の山)	報 知 電 話	
20	その他 (山岳)	8月 11日 7時 08分	菰野 (湯の山)	報 知 電 話	
21	その他 (山岳)	8月 11日 16時 45分	菰野 (湯の山)	加 入 電 話	
22	その他 (山岳)	8月 13日 20時 22分	菰野 (湯の山)	加 入 電 話	
23	その他	8月 26日 7時 34分	朝 上 (田光)	報 知 電 話	
24	交 通	9月 6日 8時 39分	朝 上 (小島)	報 知 電 話	
25	その他 (山岳)	9月 14日 15時 27分	菰野 (湯の山)	報 知 電 話	
26	交 通	9月 17日 13時 55分	鵜川原 (吉沢)	報 知 電 話	
27	その他 (山岳)	9月 24日 12時 03分	菰野 (湯の山)	報 知 電 話	

※ 報知電話 = 119番 (携帯電話等含む)
 加入電話 = 一般加入電話

	出場車両	人員	事故概要等	救助概要等
	広報車	4	御在所岳表道のガレ場で滑落した	先着の防災航空隊によりヘリコプターで県立総合医療センターへ搬送した
	広報車	4	御在所岳前尾根ルートで低体温により動けない状態になった	先着の防災航空隊によりヘリコプターで三滝川河川敷へ搬送した
	査察車	4	御在所岳裏道を下山中に滑落した	遭難事案であった為、警察隊に引き継いだ
	救助工作車 ポンプ車 救急2号車	5 3 3	自動車同士の事故、事故車両1台から1名が脱出困難となった	救急隊と協力して車外に救出した
	広報車 救急1号車	4 3	日向小屋にて発熱により動けない状態になった	担架に収容し、登山口まで救出した
	広報車 救急1号車	4 3	鎌ヶ岳馬の背尾根を下山中に滑落した	自力歩行可能であったため、誘導により登山口まで救出した
	広報車 査察車 救急2号車	4 4 3	御在所岳中道を下山中に滑落した	介添え搬送にて登山口まで救出した
	広報車 査察車	4 4	御在所岳裏道でスズメバチに襲われ、1名は左膝を刺され、もう1名が転倒して右肩を脱臼し動けない状態となった	介添え搬送にて登山口まで救出した
	広報車	4	御在所岳裏道を下山中に右足首を捻挫し動けない状態となった	介添え搬送にて登山口まで救出した
	救助工作車 救急1号車	4 4	水路へ転落した	救急不搬送事案の為、警察に引き継いだ
	救助工作車 ポンプ車 救急1号車	3 2 3	自動車の単独事故で、1名が脱出困難となった	既に車外に脱出済みであった
	広報車	4	御在所岳裏道を登山中に滑落した	背負い搬送にてピックアップポイントまで搬送し、防災航空隊によりヘリコプターで三滝川河川敷へ搬送した
	救助工作車 ポンプ車 救急1号車 救急2号車	4 2 3 3	自動車同士の事故、事故車両1台から1名が脱出困難となった	事故車両に損傷も無く脱出可能であった
	広報車	4	鎌ヶ岳三ツ口谷を下山中、「救助要請の声を聞いた」との未確認通報	警察隊と捜索したが要救助者を発見できなかった

救助出動状況

番号	事故種別	覚 知 日 時	発 生 場 所(区)	※覚 知 別	
28	交 通	9月 26日 8時 39分	千 種 (千 草)	報 知 電 話	
29	その他 (山岳)	10月 9日 11時 43分	千 種 (千 草)	報 知 電 話	
30	その他 (山岳)	10月 10日 12時 51分	菰 野 (湯の山)	加 入 電 話	
31	交 通	11月 3日 20時 58分	竹 永 (竹 成)	報 知 電 話	
32	建 物	11月 14日 9時 39分	朝 上 (根の平)	報 知 電 話	
33	その他 (山岳)	11月 20日 15時 21分	千種 (千 草)	報 知 電 話	
34	その他	11月 23日 13時 13分	千種 (音 羽)	報 知 電 話	
35	水 難	12月 3日 11時 20分	千種 (千 草)	加 入 電 話	
36	交 通	12月 5日 16時 31分	菰 野 (宿 野)	報 知 電 話	
37	その他 (山岳)	12月 9日 15時 18分	菰 野 (湯の山)	加 入 電 話	
38	交 通	12月 18日 8時 05分	鶺川原 (大強原)	報 知 電 話	
39	交 通	12月 21日 9時 44分	千種 (千 草)	報 知 電 話	

※ 報知電話 = 119番 (携帯電話等含む)

加入電話 = 一般加入電話

	出場車両	人員	事故概要等	救助概要等
	救助工作車 ポンプ車 救急1号車 救急2号車	4 3 3 3	自動車同士の事故、事故車両1台から1名が脱出困難となった	救急隊と協力して車外に救出した
	広報車 救急1号車	4 3	根の平峠伊勢谷でスズメバチに頭部と顔面を刺され、気分が悪くなり動けない状態となった	山岳連盟と協力して担架で登山口まで救出した
	広報車	4	国見岳国見尾根を下山中に滑落した	介添え搬送にてピックアップポイントまで搬送し、防災航空隊によりヘリコプターで三滝川河川敷へ搬送した
	救助工作車 ポンプ車 救急1号車	4 2 3	自動車の単独事故で、1名が脱出困難となった	先着していた救急隊により車外に救出した
	救助工作車 救急1号車	4 3	建物入口が施錠されていることによる救急隊への支援	先行していた救急隊が開錠した
	広報車	4	釈迦ヶ岳松尾尾根を下山中に遭難し、動けない状態となった	先着の防災航空隊によりヘリコプターで三滝川河川敷へ搬送した
	救助工作車 救急1号車	4 3	作業中、転倒し地面から突き出ていた鉄筋で背中を負傷した	救急隊と協力して担架で救急車まで搬送した
	救助工作車 救急1号車	5 3	「湖面に人が浮いている」との通報	担架に収容し、警察車両まで搬送し引き継いだ
	救助工作車 救急2号車	4 3	自動車道路から約2m下の河川敷に転落した	救急隊と協力して担架収容し、人力で道路まで救出した
	広報車	4	御在所岳中道を下山中、「救助要請の声を聞いた」との未確認通報	警察隊と捜索したが要救助者を発見できなかった
	救助工作車 救急1号車 救急2号車	4 3 3	自動車同士の事故、事故車両1台が横転した	要救助者は既に車外に脱出済みであった
	救助工作車	4	自動車同士の事故、事故車両1台から1名が脱出困難となった	リアガラスを破壊し、車外に救出した

事故種別出動件数、救助人員

種別 区分	火 災		交 通 事 故	水 事 難 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	爆 発 事 故	そ の 他 の 事 故	29 年 合 計	28 年 合 計
	建 物	他										
出 動 件 数			9	1		1	1			27	39	36
救 助 人 員			6	1		1				16	24	30

事故種別、救助出動人員

種別 区分	火 災		交 通 事 故	水 事 難 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	爆 発 事 故	そ の 他 の 事 故	29 年 合 計	28 年 合 計
	建 物	他										
救 助 隊 員			46	5		6	4			125	186	144
消 防 隊 員			7								7	15
救 急 隊 員			27	3		3	3			19	55	80
合 計			80	8		9	7			144	248	239

事故種別、救助出動車両

種別 車両	火 災		交 通 事 故	水 事 難 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	爆 発 事 故	そ の 他 の 事 故	29 年 合 計	28 年 合 計
	建 物	他										
救 助 工 作 車			9	1		1	1			3	15	16
タ ン ク 車												
ポ ン プ 車			5								5	6
救 急 車			11	1		1	1			9	23	27
指 揮 車												
広 報 車										23	23	19
資 機 材 搬 送 車						1				2	3	1
そ の 他 の 車 両										3	3	2
合 計			25	2		3	2			40	72	71

※その他の車両とは、査察車と防災広報車